

マイティシート 敷設手順

CHORI

IQg Intellectual
Quality for Green



① 施工前に草刈りを行う。

発電所内、フェンス周辺(極力フェンス外部も実施*)の除草を行ってください。
(右写真はフェンス外まで除草され、シートがしっかり設置されています。)

* 雑草はフェンスの外からも発電所敷地内に潜りこんできます。



② 防草シートを広げ設置する。

(防草シートの重ねは10cm以上)

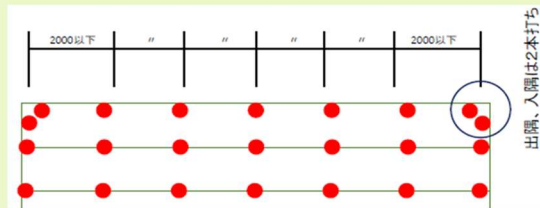
一度に広げすぎると風に煽られ作業性が悪くなる場合があります。

1. 雨の流れ、風向きを考慮してシートの重ねの上下を決めてください。
2. 重ね部分は10cm以上設けてください。端部にU字溝やコンクリートブロックがある場合にも10cmの重ねを設けてください。
3. 障害物があるときはシートをカットして対応してください。



③ 間隔にマーキングを行い、止め杭で打設する。

防草シートの周り100cm間隔、重ね部は150cm間隔を目安に打設してください。



* 杭は25cmのものを推奨していますが、現場状況に応じて、柔軟にご対応ください



④ 粘着テープを貼り付ける。

シートのカット部分、止め杭の頭部に張り付けてください。

⑤ 構造物には強力ボンドで接着させる。

設置部の砂埃はきれいに払ってください。

* 接着しない場合は異形鉄筋(幅 10mm 程度)をシートに巻き付け二枚重ねにし、重りとしてください。



⑥ 設置完了!

マイティシートは、(株)蝶理が開発した太陽光発電所向け PET 樹脂製の防草シートです。
本内容に関するお問い合わせは 国内総代理店 (株)IQg までお願い致します。